

卒業研究・卒業論文の取扱いについて（履修手引引用）

卒業研究は、大学4年間の学生自らの研究の集大成であり、大学における学業の中で最も重要なものです。この単位の取得のためには、以下の項目を満たした上で、卒業論文を提出し、発表会で論文を発表することが必要です。

1 卒業研究の履修資格

(1) 卒業研究を履修するためには、本学部に3年以上在学し、卒業研究の履修開始予定学期の前学期末までに100単位以上を修得していなければなりません。

（なお、休学している場合、その期間は在学期間に算入されません）

(2) 3年次編入学生については、本学部に1年以上在学し、本学部で認定された入学前既修得単位を含めて、卒業研究の履修開始予定学期の前学期末までに100単位以上を修得していなければなりません。

2 卒業研究の指導

(1) 卒業研究は、学科のどの専任教員の下でもその指導を受けることができます。

(2) 卒業研究は、指導教員の指導のもとで卒業論文を作成するものとします。

(3) 社会情報学ゼミから卒業研究への移行時に指導教員の変更を希望する場合は、卒業研究の履修開始予定学期の前月中に変更申請を行ってください。この場合、指導教員と移行希望先教員の双方の了解が必要です。

3 卒業論文の作成と提出

(1) 卒業論文の題目及び研究計画の提出

① 卒業論文の題目、キーワード及び研究計画（500字程度）を、前期に卒業研究の履修を開始する者は4月末日、後期に卒業研究の履修を開始する者は10月末日を期限として、オンラインで登録しなければなりません。登録された題目及び研究計画はオンラインで公開します（学部内のみ）。

② 卒業論文の題目及び研究計画をWWWを利用し独自の形式で公開することを希望する者は、①の登録の際にそのリンク先を登録できます。

(2) 卒業論文の提出

卒業論文（概要を含む）の正本1部を教務係に提出するとともに、PDFファイルをオンラインで提出するものとします。サイズはA4判を標準とします。書式及び提出期限については、別途、教務委員会が決定します。卒業論文の提出先は、教務係です。

***期限をすぎた場合には、卒業論文を受理しません。**

(3) 卒業研究発表会

① 卒業論文の作成者は、論文提出後に発表を行わなければなりません。発表会の開催日は別途、教務委員会が決定します。

② 発表会は次のとおり実施します。

ア 発表時間は、1人当たり10分間とし、質疑応答時間を5分間設けます。

イ 編成は、20人程度で6グループを編成します（各グループ約5時間）。詳細は、発表内容、研究テーマなどを勘案して、別途、教務委員会が調整して決定します。

(4) 卒業論文の審査

卒業論文の審査は、指導教員が行います。ただし、指導教員が必要と認めた場合、副査を置き、その指導及び審査の協力を依頼することができます。

(5) 卒業論文の保管と閲覧

① 提出された卒業論文は所定の場所に保管し、公開します。

② 卒業論文提出後、最終的な卒業論文の題目、キーワード及び概要を（1）の①と同じ方法で発表会までに登録しなければなりません。登録された題目等はオンラインで閲覧可能にします。